

施策提言WGの開催

2月3日(金)に施策提言WGがリモート開催されました。当日の出席者は、事務局を含め14名でした。前回の議事録を確認した後、追加調査が行われたHPCI利用環境に関するアンケートの結果報告に基づき、意見交換が行われました。このTFには、オブザーバとしてRIST様にもご参加頂いており、RIST様が既に提供済のサービス等について、その場で補足説明を頂いております。その他、2月7日に開催予定のRIST様を交えた文部科学省様との意見交換会に提出する資料について主査より説明があり、質疑応答が行われました。

文部科学省様・RIST様との意見交換会の開催

2月7日(火)に文部科学省様・RIST様とのリモート形式での意見交換会が開催されました。当日の出席者は、文部科学省様より研究振興局参事官(情報担当)付計算科学技術推進室長他7名の方、RIST様より4名の方、産応協より企画委員長他事務局を含め5名でした。産応協が実施したアンケート結果を基に、非常に有意義な意見交換ができました。

対話交流会セミナーの開催

2月10日(金)に日本応用数理学会ものづくり研究会様との共催による対話交流会セミナーをオンライン形式で開催いたしました。今回のメインテーマは「社会課題解決に向けた数理科学の進展」でした。日本応用数理学会様との共催イベントは、今回が初の試みでしたが、数回に亘る共催WGを開催し、万全な下準備を進めた結果43名の方々が参加され、滞りなく開催することができました。当日のプログラムは以下のとおりでした。

《プログラム》

1. 「富岳を用いた乱流解析の産業利用事例(洋上風車と自動車空力音の解析事例)」
豊橋技術科学大学工学研究科機械工学系教授 飯田明由氏
2. 「防災DXに向けたシミュレーションの活用:津波予測と避難対策」
富士通株式会社研究本部人工知能研究所主査企研究員 大石裕介氏
(東北大学災害科学国際研究所特任教授(客員))
3. 「自律知能システムとしての自動運転の社会実装に向けて」
名古屋大学情報学研究科知能システム学専攻教授 武田一哉氏
4. 「自動運転分野における機械学習を利用した実世界データの理解・活用」
名古屋大学情報学研究科知能システム学専攻特任助教 大谷健登氏

産応協活動活性化TFの開催

2月17日(金)に第2回目になる産応協活動活性化TFがリモートで開催しました。当日の出席者は、事務局を含めて7名でした。社会的な計算科学の広がりがあり、それに伴い産応協の活動もシミュレーション技術中心から、広くデータサイエンス、AIなど広がりをみせています。

このため、産応協の活動を考える場合、どこまでをHPC技術として包含していくべきかを再定義することになりました。また、会員企業の委員メンバーの負荷削減のための組織の再構築、や、産応協の認知度アップのための広報等について議論されました。

スクールWG，セミナーWG合同打合せの開催

2月21日（火）にスクールWG，セミナーWGの合同打合せをリモートで開催いたしました。これは、以前より進めております同一テーマによるスクール，セミナーの開催について、今後の取上げるべきテーマ等について話し合いがもたれました。

HPCロードマップWGの開催

2月24日（金）にHPCロードマップWGがリモート開催されました。当日の出席者は、事務局を含めて16名でした。今回は、各委員が分担して作成したドラフトを合体させ、内容の皆おあしと全体的な統一感等をチェックいたしました。今後は3月末の完成に向けて、各委員の間でメールによるやり取りを活性化させる予定です。

第8回主査会の開催

2月27日（月）に本年度第8回目の主査会が事務局のある虎ノ門の会議室で開催されました。当日の出席者は、事務局を含め9名でした。今回は、各WGから現在の活動状況について報告が行われ、質疑応答，情報交換が行われました。その後、2023年度活動計画策定に向けてのスケジュールの確認，産応協活動活性化TFについての意見交換が行われました。

以上

<p>【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】 住所：東京都港区虎ノ門1-10-5 KDX虎ノ門第一ビル 6階 電話：080-6906-5461 E-Mail：icscp_office@icscp.jp 担当：中川，滝口</p>

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。
会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。
関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

